

## SDGs推進事業・人間分野

応援：埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動

事業名 ▶ 障がい者の『やりがい・働きたい・生きがい』支援

法人名 ▶ 特定非営利活動法人リンク リライアンス



### 活動内容

障がい者の工賃が著しく低い実態を改善するため、日本の伝統文化のひとつである「折り紙」製品の製作・販売を通じて障がい者の仕事を拡充、障がい者の『やりがい・働きたい・生きがい』づくりを支援しています。

### 事業取組

- ①オリジナルのガチャ販売機を2台追加購入し、現状の浅草、浦和競馬場に加え新たに栃木県日光への設置が決定。また、今年のNHK大河ドラマ「べらぼう」の地元吉原のPR館「耕書堂」にも1年間の設置が決まり、商品拡充のため新たなB型事業所への発注も開始しました。
- ②地域の川口たたら祭り、市産品フェアに加えてSAITAMA社会貢献プロジェクトの紹介で「福祉マーケット」にも出店し、他NPO、企業との接点拡大も図りました。

### 事業成果

地域の催事、イベントの積極出店はもちろん、今後もガチャ販売機のさらなる設置拡大でマンパワーに頼らない販売体制を強化、障がい者就労支援の認知、理解促進、販売量の拡大を図りたいと考えています。

総事業費

1,010,265 円

助成額

500,000 円

## SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 文化部の地域移行に向けた指導者人材発掘事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人文化活動の地域移行支援ネットワーク



### 活動内容

「部活動の地域移行を大人にとっても子どもにとっても良いものにした」との思いから音楽家有志により設立、情報交換ができるオンラインイベントの開催、小学生から参加できる市民楽団の運営などを行っています。

### 事業取組

適切な問いかけによって相手自らの考える力を引き出すコミュニケーションスキル「コーチング」の講座を文化系サークルに所属する社会人、あるいは指導者を対象とする大学生を対象として県内5か所の会場で開催しました。  
部活動の現場を熟知するコーチング有資格者が講師を務めるとともに現役の部活動指導員がスタッフを務め、各回終了後には各地域の人材バンクの紹介や相談、参加者同士でも情報交換が出来る自由時間を設けました。

### 事業成果

大学生からシニア世代まで幅広い世代の参加者が集まり、参加者の主体性を育むコミュニケーションの実践練習を行うことができました。  
今後は社会人のサークルや団体に向けた出張講座などの企画も検討したいです。

総事業費

578,027 円

助成額

500,000 円

## SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 対話の実践と対話を活用したひきこもり等支援

法人名 ▶ 特定非営利活動法人リバリューライフ



### 活動内容

私たちは、引きこもり・生活困窮者・障害者などの人々に対し、その人自身がすでに有している力を価値化していく支援活動を行い、その存在価値を高め、共同創造を進め、地域共生社会の推進に寄与することを目的として活動しています。

### 事業取組

- ①オープンダイアログといった対話の手法を地域に広め、安心して話せる場の構築を目指しました。毎月1回「オープンダイアログ実践勉強会」を開催し、様々な立場の延べ50名にご参加いただきました。また、現在支援に従事している方向けに、精神科医でオープンダイアログトレーナーでもある森川すいめいさんをお招きして拡大実践勉強会も開催し、20名にご参加いただきました。
- ②不登校や引きこもりの経験を今困っている人たちに伝えるためのリカバリーストーリー動画の制作を行いました。3名の体験をリカバリーストーリーとして合計4本の動画を作成し当法人のホームページ及びyoutube、Instagramにて公開しました。

### 事業成果

オープンダイアログ実践勉強会では、参加者から対話の重要性や、対等・水平である対話の手法の必要性などについて多く語られ、継続してオープンダイアログ実践勉強会に参加される方も多く、その必要性については一定地域に広まりつつあると感じています。  
リカバリーストーリー動画は普段あまり聞くことがない不登校や引きこもりの体験談とその後についてのとても貴重な話であり、現在不登校や引きこもりで苦しんでいる人も多様な生き方が出来る事を知ってもらえる機会となっています。

総事業費

337,975 円

助成額

284,000 円

## SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 障害者の描いた絵画作品を使った持続的な自立支援活動

法人名 ▶ 特定非営利活動法人あいアイ



### 活動内容

障害を持つアーティストが描く作品は、どれも独自の個性にあふれています。私たちは、彼らの特別な才能を活かした「創造活動による経済的自立」を実現することを目的に日々活動を続けています。

### 事業取組

絵画は日常生活に必須のものではないため、絵を描くだけで自立するのはとても難しいことです。そこで、彼らが経済的に自立できるよう継続的に利用される商品を開発することを軸に、次の3つの事業を行いました。  
①彼らの作品を多くの人に知ってもらうため、「HPに作品ギャラリーを追加」  
②継続支援してもらうため「作品レンタル事業を開始」  
③企業マインドを自然な形でPRしてもらう「アート富士山水の開発」

### 事業成果

ホームページに作品のギャラリーを追加したことでお問合せも増え、作品のレンタル事業や来客用天然水についても少しずつ成約を頂いております。今後、他団体との協業など活動を広げて行きたいと考えております。

総事業費

678,909 円

助成額

500,000 円